

一般質問

山崎
議員

○水難事故対策について

質 本市では毎年多くの水難事故が起きている。港湾では車ごと転落という事故が後を絶たない。港湾及び浮栈橋に車輪どめの設置や浮栈橋への車両の進入禁止などの対策はとれませんか。

水産課長 浮き栈橋は、漁業者の作業やフェリーの乗降のために整備されているもので、釣り客とかを考慮して整備されていないというのが前提にあります。しかし現実的にはやはり使われている現状からすると、チェーンを張ったりするということも考えられますが、それをどう管理するかとかの問題もありますし、よく利用されます漁業者の方からは、邪魔になるので設置しないでほしいというような要望もございます。こういったことから、今のところは車どめの設置を順次行っているという状況です。

質 松浦市の消防には水難救助隊がありません。車ごと転落といった事故があれば、潜水士の資格を持った漁師の方へ要請している状況です。しかし特別な訓練もしていない民間

の方をお願いするのはおかしいと思います。

消防に水難救助隊を早急に設置して頂きたい。海との関わりが切っても切れない本市です。民間に頼らず消防にしっかりとした水難救助隊の設置を要請します。

消防長 水難事故の救助隊を今のところ編成しておりませんので、事案が発生した場合は、県警や海上保安庁が救助活動をされております。要請がありました救助隊を整備する場合には、装備、人員の配置等も考慮し、水難救助に対応できる職員の育成が必要です。すぐできるというわけではございませんので、やはりベテランの潜水をされている方々とまずは協力しながら体制を整えていき、消防本部の中にも隊員を育成し、救助に当たれるチーム、そういうのを検討していきたいと考えます。

その他漁業と農業の連携、松浦市民駅伝大会、市歌、松浦駅横に車が通れる踏切の新設、東京オリンピック選手村と応援者村の構想について質問しました。

一般質問

神田
議員

○鷹島神崎遺跡の今後の活用方針について

質 最終的には元寇船の引き揚げと思うが、行政として、一定のスパンを定め、元寇船の引き揚げ、保存処理、展示公開までの長期計画を示し、国や県へ要望していく必要があると思うが、市としての考えを伺いたい。

文化財課長 元寇船の引き揚げを最終目標に掲げ、長期計画の策定に取り組み、策定後には新たな要望活動を展開していきたいと考えます。

質 鷹島海底遺跡を全国、全世界へ発信していくためには、人材確保と育成が必要と思うが、市はどのように考えられているのか伺いたい。

市長 教育委員会と人員体制、職員の配置に関する協議を進めてまいります。

質 松浦市の財産である鷹島神崎遺跡の今後の活用策を早急に打ち出すべきと思うが、市長の見解を伺いたい。

市長 元寇船の展示公開、さらには移動展示や体験航海といった施設を整備することによって、将来にわたって世界に誇れる地域にしなければならぬと思っています。

○原子力災害時の避難道路について

質 佐賀県道筒井万賀里川線については、県と合同で危険な箇所や見通しの悪いカーブ等を精査し、危険箇所の資料を作成されたか伺いたい。が、県へいつ提出されたか伺いたい。

建設課長 資料は、長崎県へ平成27年1月31日に提出いたしております。

質 長崎県と佐賀県で実施している道路事業に関する調整会議に提出されたか伺っているが、長崎県としてはどのように訴えられたのか伺いたい。

建設課長 会議は平成27年7月23日に開催され、市が提出した資料を用いて、地元から改良要望が上がっていることを説明されたと聞いております。

また、平成28年8月6日に開催された会議におきましても、引き続き議題として協議が行われたと聞いております。

質 原子力政策が国策である以上、同路線については、国が長崎県と佐賀県の仲介役として積極的に介入すべきと思う。この件について市長の見解を伺いたい。

市長 両県に対して働きかけをさらに強めていくことが最善の策だと思います。できるだけ早い時期に県と県選出国会議員にお願いして、国の関係省庁に要請する行動をとっていきたいと思っています。